

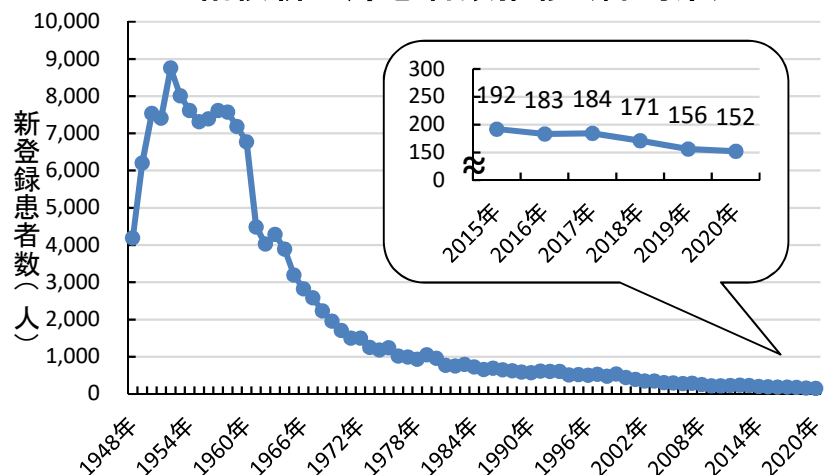
「結核は、過去の病じゃありません。」

9月24日～9月30日は、結核予防週間です！

◆ 群馬県の結核

- 患者数は年々減少傾向にありますが、令和2年（2020年）には、152人の患者が新たに報告されています。
- 70歳以上の高齢者の割合が半数以上を占めていますが、若い世代の報告も増加傾向になっています。

結核新登録患者数推移（群馬県）



◆ どんな病気？

- 結核は、結核菌による感染症です。患者が咳などをした時に出るしぶきの中にいる結核菌を吸い込むことで感染します。
- 発病するのは感染者のうちの2割程度で、多くの人は抵抗力があるので、発病しないですみます。
- 発病すると、咳や痰、微熱など風邪のような症状が出ます。肺以外に、全身に症状が出ることもあります。結核と診断されても、一定期間きちんと薬を飲み続ければ治ります。

◆ 予防・対策は？

- 空気感染で広がるため、咳エチケットを心がけ、咳が長引く場合には、結核疑って医療機関を受診しましょう。
- 早期発見・早期治療が重要です。事業所、学校、施設などで実施される結核健康診断（胸部レントゲン検査）を受けましょう。また、65歳以上の方は、年に1回の健康診断が義務付けられています。市町村で無料で受診できるので、必ず受けましょう。



群馬県のマスコット
「ぐんまちゃん」



★ 詳しい情報はこちら（結核について） → <http://www.pref.gunma.jp/02/p07600026.html>

* この情報に関するお問い合わせ先: 群馬県感染制御センター(群馬県衛生環境研究所)

TEL: 027-232-4881 E-mail: kansenseigyo-c@pref.gunma.lg.jp